

こもろ

No. 158
平成27. 1.28

市議会だより

12月定例会



3月定例会は、
2月24日(火)開会の予定です

新年明けまして
おめでとうございます。

主な内容

- 12月定例会の概要 請願・陳情の審査結果
表決の結果 2～4ページ
- 研修会・常任委員会報告 5～6ページ
- 一般質問 (13名) 7～13ページ
- 議会の日程・傍聴席 13ページ
- 特集 議会と語る会 14～17ページ
- 4年間を振り返って 18～19ページ
- まち再生特別委員会報告・編集後記 20ページ

12月定例会

第16次議会最終定例会開催される 「国保税平均12.32%引き上げ」 「廃棄物の処理及び再生利用の条例改正」 「新庁舎等整備事業費補正予算」 など40議案可決

平成26年第5回12月市議会定例会は、11月25日から12月16日の22日間の日程で開かれました。本定例会での理事者から提出された案件は、人事条例、補正予算が34件で、それぞれ同意、可決されました。また、議員からの発議は、条例改正が1件、議員派遣について1件、関係省庁への意見書を求める発議は4件が提出され、採決の結果全て可決となりました。

主な議案

◆条例 小諸市市税条例の一部を 改正する条例

この条例は、小諸市国民健康保険運営協議会からの答申に基づき、小諸市国民健康保険税率を改定し、1世帯当り平均12・32%の引き上げを行うものです。この条例は、平成27年4月1日から施行されます。

次のとおり賛成、反対の討論がありました。採決の結果、賛成多数で可決されました。

反対討論

1世帯当り12・32%の引き上げは、大変な重税感を伴うものです。市民の暮らしは、消費税8%の増税や物価の上昇、年

金の削減などで日々厳しさを深め、低所得者にとっては、7割・5割・2割の軽減措置がある一方、減免対象とならない課税所得額100万円の2人暮らし世帯は14%の引き上げで、その額は3万7千円余の引き上げで生存権を脅かす事になる。1千名を超える市民の「国保税は引き上げしないでほしい」という、切実な声を

しっかり受け止めて欲しい。

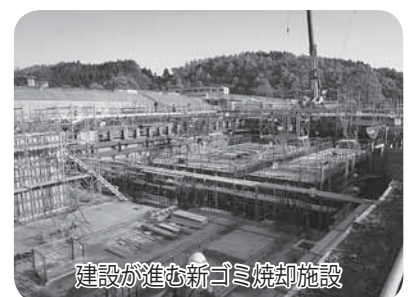
賛成討論

国民健康保険は、高齢化と医療技術の進展に伴い、給付費は増加傾向にあり、平成22年度以降の累積赤字額は2億7千万円となり、厳しい財政運営を強いられています。

今回の引上げ率は1世帯当り平均12・32%で負担感は大きなものであることも伺えますが、65歳以上や低所得者層に配慮した内容であり、また、この10年間税率の引上げを行っていないことを踏まえ、今後の小諸市国保の運営の安定を図るため今回の改定は必要だと考えます。

小諸市廃棄物の処理及び再生利用の促進に関する条例の一部を改正する条例

この条例は、平成28年1月に稼働を予定している新ごみ焼却施設で受け入れるゴミの種類や手数料などの変更を行う条例です。



建設が進む新ごみ焼却施設

改正内容は、新焼却施設では産業廃棄物の処理を行わないためその項目の削除を行い、手数料等は、大きく4つの項目によりまとめられました。

1つ目は、今までどおりごみ集積所にごみの搬出を基本とすること。

2つ目に粗大ごみなど集積所に出せない物は、新焼却施設に持ち込めるようにすること。

3つ目に、持ち込まれた「ごみにかかる経費」に対し、市民の皆さんには75%、事業者には100%の負担を求める。

4つ目に重量に応じた手数料とすること。ただし粗大ごみについては、重量に応じた手数料に加



議事報告会の様子

え個数に応じた手数料とする事です。

具体的には、事業系指定袋1袋当り現行の170円から200円に、粗大ごみは、切断作業をする粗大ごみ1個につき一般家庭は100円、事業者は130円。破碎作業をする粗大ごみ1個につき一般家庭は300円、事業者は400円。解体作業をする粗大ごみ1個につき一般家庭は千円、事業者は千370円となります。また、剪定枝の持ち込みは、10kgごとに60円となり、50kg以下のごみの持ち込みは、その無料枠がなくなり、一般家庭では10kgまで100円、事業者は10kgまで150円となります。この条例は平成28年1月

1日から施行されます。

小諸市議会政務活動費の交付に関する条例の一部を改正する条例

政務活動費は、市議会議員の調査研究その他の活動のため必要な経費の一部として、会派に対して交付されています。

自治基本条例で市議会の責務として「市議会は、自治の発展のため、市民の意思を的確に把握し、政策の積極的な立案及び提言に努めなければならない」とされていることから、議員活動の充実を図ることを目的に改正するものです。議員1人当たり、月額9千円から月額1万2千円に増額されます。この条例は、平成27年4月1日から施行されます。

小諸市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

国家公務員の給与法の改正に伴い、国の特別職の職員の期末手当が引き

上げられたことと、一般職との均衡を考慮し、小諸市議会議員の期末手当が年間0・15ヶ月引き上げられます。

小諸市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

国家公務員の給与法が改正され、一般職の国家公務員の月例給、勤勉手当、通勤手当が引き上げられたこと及び長野県人事委員会の勧告を踏まえ、小諸市一般職の職員の月例給は平均0・27%の増額、勤勉手当は年間0・15ヶ月の引き上げ、通勤手当は一律100円増額とする改正です。



図書館内部のイメージ

◆議員発議
小諸市議会委員会条例の一部を改正する条例について

この条例は、先の平成25年12月定例会において、議会が可決した議員の定数を21人から19人に減員したことに伴い、小諸市議会の常任委員会の定数を7人から6人へ変更する改正です。また、議長は中立・公平の立場にあり、全体を把握するため、常任委員会に所属しないことを新たに規定しました。この条例は、平成27年2月1日から施行されます。

◆補正予算
平成26年度小諸市一般会計補正予算(第5・6・7号)

現予算に6億800万円を追加し予算総額を歳入歳出それぞれ183億4千8百万円とする補正です。

新庁舎等整備事業費では、4億9千520万円の増額がされ、内訳は、引越し作業に係る業務委託料1千250万円、工事請負費



小学校バスケットゴール

3億1千300万円は、平成26年度中の出来高支払額の見込額と現計予算額との差額を計上し、備品購入費は、新庁舎の什器類の購入費1億6千900万円が計上されました。

新図書館建設準備事業は、図書館システム構築委託料6千630万円、図書館・コミュニティスペースの備品購入費2千380万円が計上され、図書購入費として、開架予定10万冊の1割に相当する、約1万冊を購入する費用1千900万円が計上されました。尚、納品が平成27年度となるため全額繰り越しが認められました。教育費では、野岸小学校プールの漏水対策と、

体育館の非構造部材の改修をするための設計業務委託料として300万円が計上されました。また、照明設備やバスケットゴールの落下防止対策として、設計委託料250万円が計上されました。

商工費では、商工会議所が行う市制60周年記念プレミアム商品券発行事業に対する補助金400万円が計上されました。

土木費では、地域協働道ぶしんクリーン事業奨励金について、市内自治会、PTA等の方が積極的に道路清掃、草刈、側溝の泥上げ等を実施していただいた結果、奨励金の予算が不足したため、今回15万円の補正が計上されました。

◆請願

請願26・6国保税の引き上げ中止を求める請願

採決の際、不採択とする委員長報告に対して、次のような反対討論がありました。国保税引き上げとする市税条例が既に可決しているため、賛

12月定例会概要／議案の表決状況／請願・陳情の審査結果

成討論はなく、みなし採決により、この請願は不採択と決しました。

反対討論

この請願は、市民千名以上の署名を添えて提出されている。

紹介議員として、条例

審査と請願の審査の取り扱いについて、一事不再議の原則があり、条例が採決されてからでは「みなし採決」となるので、その前に請願の審査で請願者の趣旨説明を受けて市民の声を聞いてから、条例の採決をしてほしいと発言したが、条例採決後に請願審査となり、不採択となった。市民の負託を受けている議員、議会として、市民の声を聞いてから条例の採決に臨む姿勢がほしかった。

人事

今定例会では、次の方が同意されました。

●小諸市固定資産評価審査委員会委員
塩川 豊氏（東小諸）

任期は平成26年12月15日から平成29年12月14日までの3年間です。

意見書

今定例会で、次の意見書が可決され関係省庁へ送付されました。

●国保事業への国庫負担増額・復元を国に求める意見書
内閣総理大臣ほか宛

●安全・安心の医療・介護の実現と夜勤改善・大幅増員を求める意見書
内閣総理大臣ほか宛

●介護従事者の処遇改善を求める意見書
内閣総理大臣ほか宛

●2015年NPT再検討会議に向けて日本政府に核兵器全面禁止のための決断と行動を求める意見書
内閣総理大臣ほか宛

議案に対する表決状況

本欄に記載以外の議案については全会一致で原案可決されました。◎は賛成、⊗は反対を表しています。

議案名	議員名	早川 聖	竹内 健一	柏木 今朝男	田邊 久夫	神津 眞美子	清水 喜久男	依田 善典	中村 憲次	田中 寿光	後藤 邦夫	中村 嘉男	柏木 博美	相原 久男	別府 福雄	疇地 稔	林 稔	柳沢 乃ぶ子	小林 より子
議案第99号 平成26年度小諸市市税条例の一部を改正する条例について ※1		⊗	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	⊗	◎	◎	◎	◎	◎	⊗

※1 議長は表決には加わりません。

請願・陳情の審査結果

種類	件名	氏名	結果
請願	一般社団法人小諸フィルムコミッションについて請願書	一般社団法人小諸フィルムコミッション 会長 牧野 和人 外2名	趣旨採択
	2015年NPT再検討会議に向けて、日本政府に核兵器全面禁止のための決断と行動を求める意見書の提出に関する要請（請願）	原水爆禁止佐久地区協議会 代表 望月 清泰 原水爆禁止国民平和行進佐久地区実行委員会	採 択
	国民健康保険税の引き上げ中止を求める請願	国保税の引き上げをストップさせる連絡会 代表 高橋 要三	不採択
	国保事業への国庫負担増額・復元を国に求める意見書提出の請願	国保税の引き上げをストップさせる連絡会 代表 高橋 要三	採 択
陳情	最低制限価格の設定に関する陳情書	一般社団法人長野県建築士事務所協会 会長 池田 修平 外1名	不採択
	安全・安心の医療・介護の実現と夜勤改善・大幅増員を求める陳情書	長野県医療労働組合連合会 執行委員長 小林 吟子	採 択
	介護従事者の処遇改善を求める陳情書	長野県医療労働組合連合会 執行委員長 小林 吟子	採 択
	人種差別を扇動するヘイトスピーチを禁止し処罰する法律の制定を求める陳情書	在日本大韓国民団長野県東信支部 団長 金 朝樹	趣旨採択

議員研修会

婦恋村・小諸市議会
議員研修会

平成26年10月7日

平成23年から開催している婦恋村議会との合同研修会は4回目を迎えます。

今回は、佐久長聖高等学校の駅伝部監督の高見澤教諭をお招きして、「高地トレーニングによる能力向上効果」と題して講演いただきました。

高地のような低酸素、低気圧の下でトレーニングを行うと、人間にはもともと環境に慣れようとする適応能力が備わっているため、必要な酸素量を効率よく摂取するようになります。

医学的には、赤血球やヘモグロビンの数が増え持久力が向上すると言われており、日本のトップ選手も実践し効果を上げています。

日本では、まだまだ高地トレーニングができる

第10回長野県地方自治政策課題研修会
平成26年11月17日

場所が少ないので、トップ選手は海外へ行くことが多く、費用的にも負担が大きいとのことでした。

浅間山麓は、高地トレーニングを行う上で非常に魅力的な場所であり、要望を言えば、複数のロードコースの整備と宿泊施設があれば、全国から注目される場所になるのではないかとのことでした。

浅間山麓高地トレーニングエリア構想を議論する上でとても参考となる講演でした。



この研修会は、長野県議会議員研修会実行委員会の主催で県庁講堂で行なわれました。14名の議員で参加しました。

今回の研修内容は、前半は、昨年10月下旬に開設した「銀座NAGANO Oしあわせ信州シェアスペースの活用について」の講演があり、単なる物産館ではなく、信州の魅力を発信し、出会いの場としての機能を持たせることが重要であるとのことでした。

後半は、「ストップ少子化・地方元気戦略について」と題し、日本創正会議・人口減少問題検討分科会の構成メンバーである、森地茂氏の講演をお聴きしました。

人口減少下においても経済の成長は可能であり、アジアの繁栄を国内に広める。女性、高齢者、外国人労働力の活用。地域の国際競争力の向上を提唱されていました。

12月8日 福祉環境委員会 報告

■小諸市地域医療に従事する医師を確保するための奨学金貸与条例の一部を改正する条例について

質疑

予算の範囲内で奨学金の貸与を行うとのことだが、対象人数は年間何名を見込んでいるのか。

答弁

年間2名分で、月額20万円の貸与で総額480万円の予算を見込んでいる。小諸厚生総合病院の研修医受け入れ枠が年間2名であるため、それ以上の奨学金貸与は行わない。

■小諸市国民健康保険条例の一部を改正する条例について

質疑

産科医療保障制度の掛金が減額となった理由と保険の対象となる者の範囲はどうか。

答弁

保険の対象となるのは、重度の脳性小児麻痺などで、医療体制の充実や掛金の水準の見直しが行われたことによる減額である。また、出産費用の実勢価格が上昇傾向にあることを配慮し、出産育児一時金の総額の変更はない。

■小諸市水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例について

質疑

平成27年度から「小諸市外二市御牧ヶ原水道組合」を「小諸市上水道事業」へ統合することで、給水区域、給水人口を變更するとの事だが、給水人口が増えて一日最大給水量が減っているのはどういうことか。

答弁

過去10年間の人口推移と、実際の給水量から求めた数値であり、トイレや洗濯機等の器具の改良などにより、節水型社会になっており使用水量が減ったためである。

■請願26・7 国保事業への国庫負担増額・復元を国に求める意見書提出の請願（採択）

国の負担減が国保財政に大きく影響しており、介護保険、後期高齢者医療制度と共に負担が増している。当委員会では、この際国庫負担の増額を求めることに全員一致で採択と決しました。

■平成26年度小諸市一般会計補正予算（第5号）

質疑

合併処理浄化槽設置整備事業の補助金増により、その設置数の見込みは。

答弁

当初は40基見込んでいたが、今回増額し51基の見込みである。また、合併浄化槽の未整備は約15%である。



12月9日
経済建設委員会
報告

■小諸市民ガーデンの指定管理者の指定について

質疑

一団体のみの応募だが応募方法はどうか。

答弁

ホームページと広報こもろへの掲載をし、特定

非営利活動法人「小諸の杜」のみの応募であった。

■小諸市西小諸活性化施設の指定管理者の指定について

質疑

公募によらない選定とした理由はなぜか。

答弁

「みはらし交流館」は、施設建設前から施設の活用準備委員会を地元で組織し、話し合いの中で設置された。地域の活性化を目的に参画してきた経緯を踏まえ、管理運営を西小諸活性化施設運営委員会に任せる事が施設の活用に良いと判断し非公

募とした。

■市営住宅の明渡し及び滞納家賃等の請求に伴う訴えの提起について

質疑

使用料の長期滞納者の長期とはどの程度か。

答弁

平成16年度と17年度から現在までだが、平成24年度より不納欠損はしていないため、実際にはもっと以前から滞納があった。

■平成26年度小諸市一般会計補正予算（第5号）について

質疑

今まで農地台帳は公表されてこなかったのか。意向調査の内容はどうか。

答弁

農地台帳は、今まで所有者本人以外には公表していない。平成26年4月の農地法の改正により農地の流動化のため、耕作

のできない農地情報を担い手の拡大を図るため公開が決められ、インターネットでの公表と農業委員会の窓口における書面の閲覧が可能となった。

意向調査は、公表する内容を聞く調査で、地元

の農家組合長にお願いするもので、郵送料相当額の謝礼を支払うものである。

質疑

プレミアム商品券の補助金の費用対効果はどうか。今後も継続するのか。

答弁

商品券が使われる商店に限られてきており問題もある。商店の落ち込み等あり今回が最後という話の中で実施するものである。

請願

一般社団法人小諸フィルムコミッションについての請願書は趣旨採択と決しました。

12月10日
総務文教委員会
報告

■小諸市市税条例の一部を改正する条例

本案は、国民健康保険

税率を改定するもので、総務文教委員会と福祉環

境委員会の連合審査とし、採決は総務文教委員会で行いました。

委員の質疑により担当課から、国民健康保険特別会計の現状・小諸市国民健康保険運営協議会

よりの答申及び審議内容・保険税率引き上げによる保険税額の差額・国民健康保険加入者の所得

状況と軽減の状況・基金残高の状況等について答弁・説明があり、慎重に審議しました。

要望

一般会計から国保特別事業会計へ繰り入れして欲しい。

答弁

法定分の繰り入れは平成25年度決算で2億3千

万円である。国から交付されている「特別調整交付金のうち経営努力分」、いわゆる「特々交付金」が6千万円ほど交付されているが、法定繰り入れに一般会計から繰り入れした場合には、今後交付されるかわからない。

質疑

今後の税率改定予定は。

答弁

国民健康保険が県に統合される平成29年までは、改定を行わず頑張っている。

■平成26年度小諸市一般会計補正予算（第5号）

質疑

歳入の「頑張る地域交付金」を市単道路整備事業等に充当する理由は。

新焼却施設建設事業や新庁舎等整備事業に充てたかったが、平成26年度中に完成する事業でない

と対象にならないため、市単道路整備事業等に充てた。

答弁

新庁舎等整備事業費の備品購入費の内容は。

質疑

1億6千900万円の仕類の主な内容は、執務のために使用する6〜10人ぐらいが座れる天板デスクというフラットな机や2階以上のカウンターなど。カウンターは本体内事ではなく什器類として計上している。

答弁

小学校費・中学校費の非構造部改修委託料の非構造部材とは。

非構造部材は鉄骨や梁以外の天井や照明器具等の部分であり、国の新たな財政支援制度で、平成27年度が期限である。

質疑

小学校費・中学校費の非構造部改修委託料の非構造部材とは。

非構造部材は鉄骨や梁以外の天井や照明器具等の部分であり、国の新たな財政支援制度で、平成27年度が期限である。

答弁

非構造部材は鉄骨や梁以外の天井や照明器具等の部分であり、国の新たな財政支援制度で、平成27年度が期限である。

答弁

非構造部材は鉄骨や梁以外の天井や照明器具等の部分であり、国の新たな財政支援制度で、平成27年度が期限である。

答弁

非構造部材は鉄骨や梁以外の天井や照明器具等の部分であり、国の新たな財政支援制度で、平成27年度が期限である。



みはらし交流館



庁舎ロビーのイメージ

各保育園の職員体制はどうか 浅間山の避難シェルター増設はどうか

質問

保育園の正職員と臨時職員数はどうか。

教育長

公立保育園7園全体で保育士正職員24人、臨時職員82人で、正職員の割合は22・6%、調理職員は正職員が2人、臨時職員16人で正職員の割合は11・1%である。

質問

子育て環境の充実のために臨時保育士の増も必要と考える。例えば日曜保育の実施はどうか。

教育次長

昨年のニーズ調査では日曜保育の希望も出ている。子育て支援新制度の会議で考えたい。



清水喜久男
(新政会)



浅間山に設置された避難シェルター

質問

浅間山避難シェルターの増設はどうか。

市長

シェルターは3カ所4基あり300名が避難できる。直近で設置した鉄筋コンクリート製は2千600万円余の工事費がかかり、国の補助が3分の1あったものの高額な事業費である。御嶽山の噴火以降、シェルターが注目されているので国、県の動向を注視したい。

国保会計に一般財源を繰り入れ、 国保税の引き上げ中止を

質問

国保税の引き上げが提案された。実質賃金は上がらず、年金引き下げ、物価高、消費税増税で市民生活は大変苦しい。また国保加入者は税の負担能力が高くない。さらに高齢者層が多く医療費が高くなり、他の医療保険よりも保険料が高くなる。

新庁舎等・厚生病院周辺の駐車場に18億円もの建設費がかかる。病院にも応分の負担をしてもらうなど税金の使い方を見直して一般財源を繰り入れし、国保税を引き上げないでほしい。

市長

一般財源からの繰り入れは、保険者間の負担の公平性に欠け



小林よ日子
(日本共産党)



国保年金係の窓口

質問

一か月の短期保険証を発行しているのは県下で小諸市だけ。国民皆保険体制の精神に基づき改善するべきではないか。

民生部長

保険証が必要な人に出さないわけではない。ぜひ相談してほしい。信頼関係を持って柔軟に工夫してやっていく。

市政経営で今後の取り組み課題について



柳沢乃ぶ子
(新風会)

質問

市長は「対立から対話そして協調」と申され、協働のまちづくりとして「柳田プラン」を示すとしたが、いまだにプランが見えてこない。

市長

柳田プランは第5次基本構想そのものである。多くの市民と協働で地域計画として策定する。

質問

安倍内閣は「女性が輝く社会」を目指している。小諸市行政の女性参画の状況はどうか。

市長

状況は年々向上し、本年は女性部長職が7年ぶりに誕生した。



『小・中学校長期改築計画策定に向けた取り組み』給食を考えるワークショップ(野岸小学校)

質問

産業廃棄物処分場が廃止になったが、安全安心の確認は。

市長

県では法の基準に照らし①地下水等の水質②放射性物質・空間放射線量等検査をしたが問題ない。今後も県独自の検査を継続し、市民に結果を公表する。

質問

少子化が進む中、保育園・小学校の統廃合はどう考えるか。

市長

5年以内に着手したい。

「活気ある温かな地域づくり」をめざして



柏木今朝男
(公明党)

質問

高齢者福祉充実の観点から「訪問理美容サービス」の助成額・年間利用限度の拡充と、対象者を重度身障者まで緩和を。

民生部長

実態調査をして検討したい。

質問

土砂災害警戒区域指定の地域へ住民説明会を行うなど、きめ細かな対応が必要ではないか。

総務課長

ハザードマップを全戸配布し、資料ができ次第説明に伺いたい。

質問

自力で避難が難しい幼児や高齢者、障がい者など要援護者が利用する施設等が警戒区域にあ

るのか、また対策はどうか。

総務課長

学校や施設も警戒区域内にあり、防災計画へ盛り込んでいく。

質問

不育症治療に助成制度創設を。

民生部長

質問

子どもの医療費無料化対象年齢を18歳まで拡充を要望する。

民生部長

市単独事業では難しい。



小諸市公共施設について

質問

固定資産管理台帳の整備状況はどうか。

市長

整備については、記載項目とシステムの導入について検討を行い、公共施設白書の資料となる公共施設更新費用を推計するための施設調査表の作成に着手した。

固定資産台帳の整備は、総務省から求められている新地方公会計基準に基づく財務書類の作成に対応した内容にしていく方針だ。

質問

公共施設等総合管理計画の策定状況はどうか。



田中 寿光
(創正会)



休館中の小諸市立郷土博物館

市長

固定資産台帳と公共施設白書の作成を並行して進め、平成28年3月までに固定資産台帳を完成し、公共施設白書を公表していく予定だ。

その後、公共施設等総合管理計画を進め、第三者委員会での審議や、議会、市民の皆様のご協力をいただきながら、平成29年3月までに策定し公表したいと考えている。

若年層世帯への固定資産税緩和を！ 小諸厚生総合病院整備計画について

提案

40歳以下の新たな定住者に対して、固定資産税の期間限定免除はできないか。

市長

期間限定免除も施策のひとつと考えるが、新築・中古住宅取得に対する助成制度を来年度から実施するよう検討する。

質問・提案

40歳以下の市職員は現在何名いるのか。また、その世代の職員で子育て・教育に対しての研究グループを発足できないか。

市長・総務課長

169名である。研究課題として検討したい。



竹内 健一
(創正会)



新病院整備計画 (案)

質問

厚生病院は市民病的機能を果たし得るのか。

市長

二次救急医療を担う病院として、安定した機能を果たし得るよう連携を図り努力していく。

質問

厚生連の財務計画の見通しはどうか。

市長

現在、病院内で作成中である。市としても早期に提示するよう要望している。

新年度が小諸市にとって光さす

新しい時代の幕明けに!!



神津 眞美子
(新政会)

質問

財政的には厳しい状況になるが、予算の削減ばかりでは全体的にしぼんでいくイメージだ。経営感覚を発揮すべきでは。

財政課長

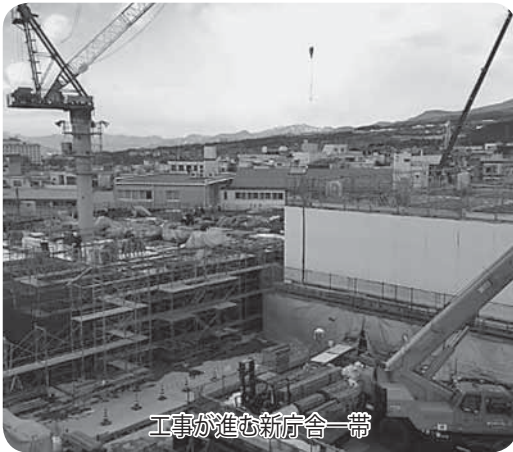
予算規模は縮小せざるを得ない。可能な限り借り入れや基金の繰り入れに頼らない、歳入に見合った予算編成をしていく。

質問

中長期的な視野に立って、自主財源を増やす取り組みを進めるべきと考える。環境政策に可能性があると考えるがどうか。

環境水道部長

一つの方法論だと考える。



工事が進む新庁舎一帯

質問

小諸市を活性化させていくためには、協働のまちづくりが重要になる。推進していく上で、行政が担う役割をどう考えるか。

市長

やはり行政が中心にならないければならないと思う。

質問

市政60周年を迎え、進行中の大型事業が完成する27年度が、小諸市にとって光さす新しい時代の幕明けになるように全職員が仕事に向かうことを願う。

病院再構築に係る財務計画はどうか
まちづくり構想と公共交通について



中村 憲次
(政真会)

質問

厚生病院へ財政支援30億円の支出年度が決定しているが、まだ財務計画が示されない。早急に計画の提出を求めべきでは。

民生部長

市から補助金を交付するには、当然病院の財務計画がない状態でという話にはならない。できる限り早い財務計画の提出を厚生連へ要請していく。

質問

平成25年には「柳田プラン」によるまちづくり構想が開始されるにあたって、現状はどうか。

市長

3月に工事が着工したばかりで、今は具体的な姿が見えない

質問

状況である。現在、市民へ具体的に提示できる段階でないが、マスタープランも含め平成27年度には検討結果を示したい。

建設部長

アンケート結果により、すみれ号の試験走行を平成27年7月頃に行い、10月の実施走行に向けて進めて行きたい。



小諸すみれ号

小諸市の地域医療の充実を

質問

小諸厚生総合病院の運営状況について、資材の高騰により面積を一割削減するような報道もある。行政は、市民に情報を正確に伝える役割があるのでは。

民生部長

新聞報道で分かった部分もある。病院側と連携をとりながら情報提供をしたい。

質問

市のホームページや広報等通常に情報公開し、市民の心配事に応じてほしい。正しい情報を市民向けに発信してほしい。

市長

まだ承知していない情報があった。お互いの情報を交換して



早川 聖
(日本共産党)



いかなければと反省している。分かっている情報はできるだけ発信していく。

質問

小諸市出身の医師やゆかりのある医師を確保するため、庁内に医師確保専任の担当係を置いて、医師を探す努力をしてほしい。

市長

今のところは考えていないが、せっかくの提案なので検討したい。

厚生病院にも駐車場建設費の負担を求めるときではないか

質問

新庁舎等建設の中で、駐車場建設は十数億円かかる。財政支援30億円に加え、駐車場まで市でつくるのかという市民の声もある。厚生病院にも建設費の負担を求めるときと考えるがどうか。

市長

協定書により駐車場は小諸市が整備し、建設費に対する負担は病院に求めない。維持管理費用の応分の負担を病院に求めていく。

質問

新庁舎等の工期が2カ月近く遅れているが、契約書どおりに完成しなかった場合の考え方は



新庁舎建設現場

どうか。

市長

仮に工期延長の必要が生じた場合には、請負契約書に従って対応する。

質問

長期学校改築計画策定の計画年度等は示されていないが、いつ頃までに行うのか。

教育長

今後、具体的な予定や進め方など示すとともに、概ね5年以内に着手できるように対応したい。



柏木 博美
(日本共産党)

人口減少社会における 自治体経営のあり方について



地 稔
(公明党)

行政経営の基本方針、事業施策を審議し、各部相互の調整を行い、効率的な執行を目的に設置されている。人口減少について議論は行っていないが、今後、考えていきたい。

質問

浅間山麓高地トレーニングエリア構想について、庁内で考えが一本化されていないのでは。

市長

今後は、一本化により思いを強くして進んでいく。

質問

人口減少について、小諸市は英知を集めてこの危機を回避し、人口減少をむしろ成長へつなげる必要があると思うがどうか。

市長

持続可能な自治体であり続けるためには、市民協働が重要かつ大切である。第5次基本構想の策定に向け、市民の皆様が取り組んでいる「地域のお宝さがし」はそのひとつと考える。

質問

政策会議や特別戦略会議で、人口減少について議論はしたのか。

総務部長

政策会議、特別戦略会議は、



地域のお宝さがし (東部地区)

市民の健康づくりについて



田 邊 久 夫
(創正会)

が長くなることは、住民にとっても、行政にとってもメリットがある。特に医療費の削減や扶助費の抑制に効果があるという考えでよいか。

民生部長

高齢者が心身ともに健康で過ごしていただくことによって、医療費はもとより介護保険の給付についても大きな影響がある。心身ともに健康であったかどうかの何よりだと考える。

住民福祉を突き詰めて考えると、住民が健康で生活できることが最大の福祉であり、究極の幸せと考えるとところである。転ばぬ先の杖と申しますが、健康であるうちに健康づくりを積極的に推進してほしいという願いを込めて質問する。

質問

適度な運動・スポーツが健康増進に有効な手段であることは共通認識であると考えるが。

民生部長

適度な運動は、非常に健康増進につながると認識している。

質問

高齢化社会を迎え、健康寿命



今後のまちづくりと小諸の財産の活用を



別府 福雄
(新政会)

質問

厚生病院への30億円の財政支援を含め約100億円を投じる大型事業「コンパクトシティ構想」に対して、第5次基本構想で1ターゲット・長期の視点に立った方向性を示していくということであっていいのか。行政としての発信がない。「柳田プラン」というものが目に見えない。

市長

どのような形で受け止めるか地元の皆さんの結論を待ち、市としては、資料の提供、先進地視察等の要望には十分応えたい。

質問

100億円近い投資をして物を造り、「さあ、後は皆さん地元で



小諸厚生総合病院

市長

考えてください。」で良いのか。

地元がしっかりやらなければいけないことだと思っている。

質問

それでは足りないと思し述べておきたい。

質問

天狗の麦飯等、小諸に多くある文化財等小諸の財産の活用を。

教育長

貴重な史跡を広く周知する努力をしていきたい。

今後の議会日程

～新しい構成で第17次議会がスタートします～
傍聴にお越しください

2月4日(水) 2月5日(木)	議会構成のための臨時会		
2月24日(火)	3月定例会開会日	3月10日(火)	経済建設委員会 総務文教委員会
3月4日(水)	一般質問(代表)	3月11日(水)	総務文教委員会 福祉環境委員会
3月5日(木)	一般質問(個人)	3月12日(木)	福祉環境委員会
3月6日(金)	一般質問(個人)	3月13日(金)	特別委員会
3月9日(月)	経済建設委員会	3月20日(金)	3月定例会最終日

※日程は変更になることがあります。市ホームページでご確認いただくか、議会事務局までお問い合わせください。

【問い合わせ先】 電話22-1700 (内線282)

傍聴席



東区
小泉 嘉子 さん

今の議員さん方の最後の議会だと云うので、一般質問の二日目の傍

聴にいきました。市役所の3階まで上がり、議会の会場に入ったのは初めての事です。市役所の中の部屋とは思えない立派なところで、市長さんや副市長さん、教育長さん方のお顔は傍聴席から正面なのでよく見えました。議員さん方は背中を見る形なので、ちょっと残念でしたが、議長さんには正面に見え、発言する方への誘導や注意を払っているのがよくわかりました。質問では、私も関心がある小諸厚生病院の建設が計画通り進むのか、小諸の防災対策のことなど取り、市民のことをいろいろ考えていることがよくわかりました。



平成26年度 第7回 「議会と語る会」を開催しました

市民の皆様と

深い意見交換ができるよう
引き続き臨んでいきます

小諸市議会は、議会自らが活力ある地域づくりのために、議会が各地域に出向いて、議会活動や市政に関する情報を共有するとともに、市政に対する多様な意見や提言をお聞きし、議会としての機能を高め、市民総意のまちづくりと市政発展を図ることを目的として議会報告会を開催してきました。

昨年10月に開催した第7回の報告会は、市民の皆様とより深めた意見交換をしたいとの思いから、「議会と語る会」に名称を変えて準備し、臨んでまいりました。

ご多忙のなか、会場や参加者の手配等多くのご協力をいただきました区長会の皆様に深く感謝申し上げます。

6会場に164人のご参加をいただき、多くの意見・要望等を出していただきました。

これ等については、12月議会において、それぞれの委員会で対応について協議いたしました。

今後の議会活動や行政への提言等に活かしてまいります。

今回の「議会と語る会」は、議会活動の一環として実施しました。

市民と協働のまちづくりを進めるためには、市民・行政・議会が一体となり、共通の認識と理解のもと、将来都市像の実現に向けて施策を展開することが、自治の基本的な姿であると認識しています。

議会が担うべき役割を再認識し、市民と協働のまちづくりを目指すことを基本に、住民自治の仕組みづくりと定着を図るための方策も含めて、今後の議会報告、「議会と語る会」のあり方について、引き続き検討を重ねてまいります。

議会と語る会の開催日と参加状況

開催日	会場	参加者	担当した議員
10月18日(土) 15時00分～17時00分	保健センター (東部・中部・西部)	11人	田邊 久夫・神津眞美子・後藤 邦夫 中村 嘉男・林 稔・小林より子
10月20日(月) 19時00分～20時50分	諸公民館 (大里・西小諸)	43人	早川 聖・依田 善典・中村 憲次 田中 寿光・疇地 稔・柳沢乃ぶ子
10月21日(火) 19時00分～21時10分	与良公会堂 (東南部)	13人	竹内 健一・柏木今朝男・清水喜久男 柏木 博美・相原 久男・別府 福雄
10月22日(水) 19時00分～20時30分	柏木上生活改善センター (北大井)	32人	田邊 久夫・神津眞美子・後藤 邦夫 中村 嘉男・林 稔・小林より子
10月24日(金) 19時00分～21時10分	和田研修センター (南大井・三岡)	33人	竹内 健一・柏木今朝男・清水喜久男 柏木 博美・相原 久男・別府 福雄
10月27日(月) 19時00分～20時50分	久保公民館 (川辺)	32人	早川 聖・依田 善典・中村 憲次 田中 寿光・疇地 稔・柳沢乃ぶ子
参加者合計		164人	

各会場から出た質問や意見等について
 数多くのご意見をいただきましたが、その中から紙面の都合により掲載させていただきました。

◆ 市政に関すること

雪害対策

意見 総括が終わっていない。68区の区民が苦勞された。

意見 各地区に業者を増やしてほしい。

質問 ある程度の雪の量になったら、区長の方から業者に依頼できないのか？

今後の議会の対応

意見 意見については、行政に具申ししていく。行政から提出された検証報告書と照らし合わせ、防災計画の充実を図る。総括については議会としてしっかり検証し、議会対応も含め検討していきたい。

子育て支援等

意見 子ども子育て支援法が成立し、子ども貧



保健センター

人口動態の行方と児童数減少に対する対応はどうか。

回答 近い将来3万5千人に人口が落ち込むと試算されている中で、議会としても児童数減少に歯止めとなる政策等を提案し取り組んでいく。

回答 しっかり受け止め議会として対応していきたい。

意見 幼児保育の充実を図ってほしい。

回答 行政に伝える。小諸市の今後の

回答 近い将来3万5千人に人口が落ち込むと試算されている中で、議会としても児童数減少に歯止めとなる政策等を提案し取り組んでいく。

質問 給食センター化で人件費が安くなることは良いが、食中毒などが発生した場合は全地域へ影響が出ると思うが。

回答 食中毒は全地域への影響が出るので、その点では自校式が考えられるが、方式も含めて検討課題である。

質問 今後の議会の対応

意見 意見を大事に慎重に対応していきたい。

質問 すみれ号の市内全域での運行方法も限界があるので違う施策はないのか。

回答 デマンド式を取り入れる提案は議会であり、市は75歳以上の

公共交通

質問 すみれ号の市内全域での運行方法も限界があるので違う施策はないのか。

回答 デマンド式を取り入れる提案は議会であり、市は75歳以上の

回答 すみれ号について、市民の意見を聞くというが検討会議の構成はどうか。車を運転する人は構成メンバーとしてふさわしくないとと思う。



和岡研修センター

出ている。

意見 すみれ号について、日曜の運行をお願いしたい。街に行事がある時に行けるようにしてほしい。

意見 南大井地区の生活圏が佐久市へ流れている現状の中で、すみれ号を佐久市に乗り入れてほしい。

今後の議会の対応 今後の検討課題として、行政と協議をしていきたい。



防災情報

意見 防災について、高齢者などに災害時の連絡手段を考えてほしい。

回答 民生委員、支えあいマップなど通じ対応するようになっていく。

意見 災害が起きてから防災では遅い、早めの対策で被害を少なくできるようにお願いしたい、温暖化で何が起きるかかわ

意見 防災士と区長が話ができる場を作って、防災士が活躍する場を設

らない、安全安心の小諸にしてみたい。

回答 災害に対し万全な対策を講じるよう対応したい。

意見 防災について、必要なニュースをどこから手に入れるのか、そして、どう行動するのかから、どう行動するのかから、市のホームページを見ればどう避難すればいいのかわかるようにしてほしい。

回答 防災についての情報はまず防災行政無線、そして区長所持の無線などから情報を得てください。

今後の議会の対応

情報が伝わるよう行政に提案していきたい。

防災士

意見 自主防災組織を立ち上げる中で、リーダーとなる人がいないので、防災士を区に割り振ってほしい。

意見 防災士と区長が話ができる場を作って、防災士が活躍する場を設

話ができる場を作って、防災士が活躍する場を設

けてほしい。
今後の議会の対応
防災士の力量がしっかりと発揮出来る仕組みづくりを提案していく。

空き家対策

質問 空き家対策についての対策はどうか。

回答 民間の(株)まちづくり小諸へ調査を委託し、今年度末までに調査を終え、それを基に市が分析していくことになっている。

意見 行政で危険な空き家の対策をすべきではないか。
今後の議会の対応
空き家対策の条例制定も含め、検討課題として行政と協議をしていく。

ごみ処理施設

質問 新たにごみ焼却施設を作る目的は？

回答 生活環境政策の柱であり、小諸のごみは小諸市で処理すること

している。
質問 ごみ焼却施設について熱利用の施設はどうか。
回答 予定のごみ焼却施設では熱量が少ない。

質問 焼却施設の運営経費を全面的に運営委託することの経緯。または背景にあるものは。

回答 「DBO方式で建設と運営を一括委託する形で動いている。これらは専門的知識を有するので市単独でやっていくことは困難。ただし、将来的には市職員も専門的



久保公民館

な知識を有することになり、市で運営していくこととしている。」と語る。会当日に答弁しましたが、カギ括弧内の答弁に誤りがありましたので次のように訂正してお詫びいたします。
「現在、市で運営はしない方針であり、市の監督責任について、議会としてしっかりチェックしていきます。」

コンパクトシティ

質問 コンパクトシティの内容がよくわからない。都市計画マスタープランで進めていくのか。
回答 「コンパクトシティとは500メートルから1キロメートル範囲の中で持続可能な生活ができることである。中心市街地にどう人を呼び込めるのが課題でもあり、公共交通の構築も必要で、マスタープランについては第5次基本構想の中で作成していくと行政は答えています。」と語る会



柏木上生活改善センター

いて、議長がなぜ委員会に所属しなくなるのか。
回答 議長は中立・公平の立場であり、また、常任委員会全般を把握するためである。

まち再生特別委員会

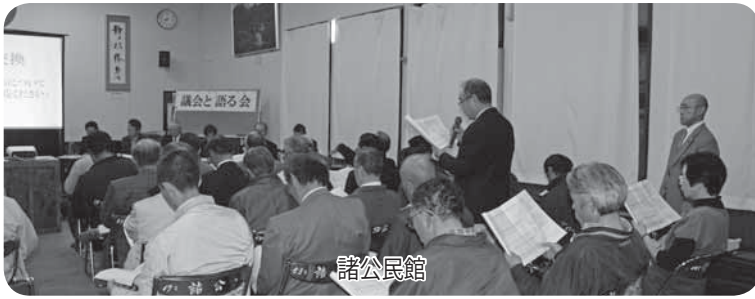
質問 まち再生特別委員会の活動が名称とかけ離れているのでは？
回答 市が進める新市庁舎や図書館、病院等を核としたコンパクトシティのまちづくりについて、中心市街地のあり方や公共交通などについてまち再生の観点で課題を調査・検討するために設置したものです。

議会の情報発信

質問 情報発信について、議会傍聴者が3年間通し増えたのか？
視察先の武雄市のフェイスブックなどに比べ情報発信が弱い。議会事務局に頼るのではなく議会

定数削減による議会構成

質問 議会の構成につ



諸公民館

としてどうするのか議員が考える必要がある。
回答 情報発信について広報委員会を充実させていきたい、報告会開催についても市内各所でPR活動を通じ訴えている。また、庁舎が完成になるが議場が新しく対面式になり、なお一層、市民が傍聴しやすくなるようにした。

アンケートによる

議会と語る会への意見・感想

参加者161名中73名(44・5%)の方にアンケートをご協力いただきました。数多く頂いた内容の一部を抜粋し、掲載させていただきます。

- 議会の内容が解って良かった。
- 建設的な意見交換ができています。
- 良い意見が出て良かった。出た意見に対する回答をお願いしたい。
- 行政に対するチェックをどのようにしているかの報告が欲しい。
- 行政視察をどう生かしたのかも報告していただきたい。
- 参加者が少ないがなぜ興味がないのか、若年者が参加するような方策が必要。
- 主に各区の代表者が見られる。当区では役員会で当報告会に対する意見を集約している。
- 小諸市をどうしたいのかというビジョンの中で、各活動がどうつながり、どう改善しようとしているのかわかるように説明してほしい。

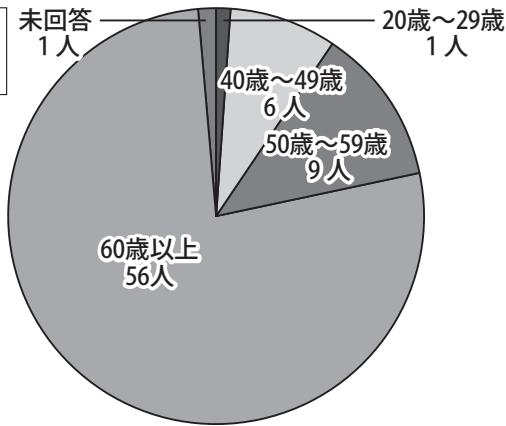


- 市民が足を運ぶ機会が少ない「議場」を開放して開催する企画はどうか? 「開かれた議会」の楽しいPRを。
- それぞれの地区の特色を挙げたテーマ・問題を取り上げたらどうか。

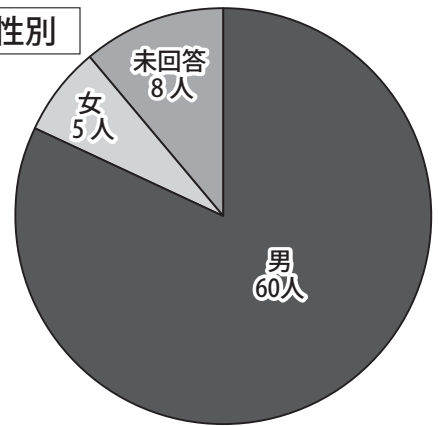
議会回答

アンケートによりいただいた語る会についてのご意見は、改選後、次年度開催の議会と語る会に向けて、議会報告会運営委員会において検討、協議をしていきます。

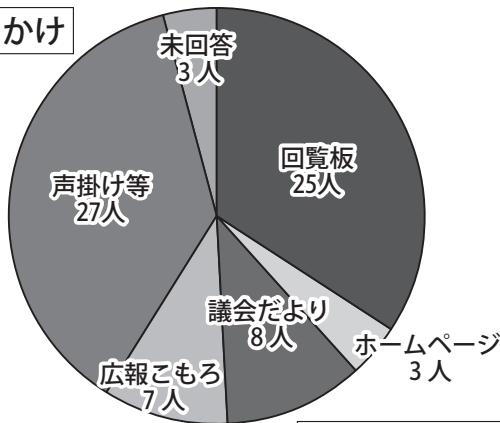
参加者年齢



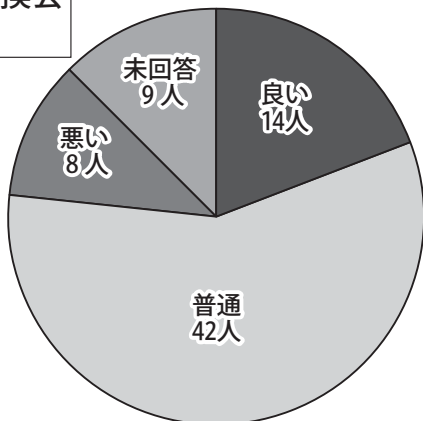
参加者性別



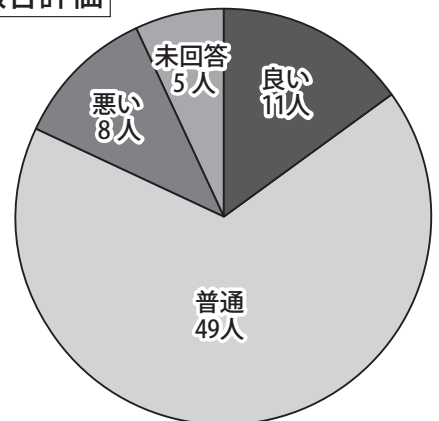
参加きっかけ



意見交換会評価



議会報告評価



第16次議会体制終了 4年間を振り返って



平成26年12月16日議長は、「平成26年第5回12月定例会に付議された議案審議は全て終了いたしました。これにて定例会を閉会いたします」と閉会宣言を行い12月議会は終了しました。

この事は「とりもなおさず」平成23年2月からスタートした第16次議会の最終定例会を終えたことにもなります。

今定例会における議員・議会の対応等は、本「議会だより」に最終議事に臨んでいる内容として、同時に、今16次議期中の最終発行でもあり、深読みいただければ幸いです。

この間の主な状況を若干振り返ってみますと、今期16次議会の改選は平成23年1月に執行、定数21名が決まり、2月には第16次前期2年の議会構成が成立し、議長に別府福雄議員、副議長に小林より子議員の体制によりスタートしました。

3月定例会が始まって間もなく、3・11東日本

大震災・原発事故、長野県北部を震源とする地震災害等、未曾有の被災・復興の対応・支援の取り組み等、また、当市の災害対策に行政・議会も奔走しました。

経済面では、世界的な金融経済危機、甚大な被害をもたらした東日本大震災などにより依然として厳しい状況が続いています。

このような背景の中で、小諸市のまちづくりに向け議論を重ねてきた大型重点事業の一つ、公募方式により菱野区での市単独の「新ごみ焼却施設建設」は、地元協定も結ばれ国からの補助金11億円



東日本大震災救援物資支援ボランティアの輪 平成23年3月

の見通しも付く状況となり、平成24年1月には搬入道路等の建設工事が始まりました。また、現市役所敷地での新市庁舎と小諸厚生総合病院の併設による再構築、さらに図書館を含めた基本設計の予算等を議会は平成23年9月議会で可決、10月には「県厚生連小諸厚生総合病院再構築に関する覚書」を交わす調印式を行い、市民の意見を二分してきたまちづくり重点事業の方向付けがされました。

ここに至るに特記したのは、平成23年3月定例会は、16次改選を経ての初回定例会ですが、各議員は選挙戦を通して得た市民の感情や声を背景に、全議員が一般質問に立つなど市民の関心を高め、市長の重点事業に対する方向性、重要な局面等が明らかになりました。

前15次議会では、市長から提案された重点事業（計画）について、「小諸市の将来に大きく影響す

4年間を振り返って



覚書の締結 調印式 平成23年10月

る事業」であることを共通の認識としながら、各議員、委員会、特別委員会、党派等の中で真剣な議論がされてきましたが、市民の意見も交差する中で、踏み込んだ対応や議会としての判断する機会が16次議会に課せられたと言えます。

市民から負託された議員一人一人が合議の中から議会としてまとまった力を発揮できるよう、新議員38%の議会体制の共通認識を図りつつ事業の審議、提言等で進めてきました。

30年50年先を見据えた小諸市のまちづくりに関わる重点事業等は市民の理解と意向を踏まえ「拙速」な対応は避けるべきとの趣旨の「申し入れ」を前市長に行いました。この申し入れの中で議会が使った「拙速」の文言に市長はこだわり、議長への侮辱、学歴差別、高校の名誉毀損発言を行うなど、申し入れに対する議会軽視に、市長不信任議決の議会討議が交わされましたが、重点事業論議の重要な中での混乱を避け、10ヶ月後に控えている市長選に市民の判断を仰ぐこととした経過もあります。

平成24年3月議会では、新市庁舎・駐車場の実施設計、市民会館解体工事費、ごみ処理施設用地購入費等を含む総額2億9千万を可決。コンパクトシティとしての事業が具体的に動き出しましたが、一方、市長選も益々激しくなり、現職、新人候補のたたかいは、近隣市町村や議決の手順を進めてきた方向を良として推進する市民層と議員、一方、市民説明が不足・市単独

ごみ焼却施設建設を見直し佐久市への共同参画・小諸厚生総合病院再構築場所等について見直し市民アンケートの実施等を公約とする新人候補に同意する市民層・議員とに分れ争いましたが、結果新人の現市長柳田市政が誕生しました。



小諸市新ごみ焼却施設建設及び運営事業契約の締結 平成25年6月



新庁舎建設 平成26年10月現在の様子

市長交代により直近の市民の意思を背景とする公約として議決事項・近隣市町村、国、県との行政確認を見直し方向転換することは、市民を代理する議決機関として議決をし、既に事業の執行がされている状況下においては無理があり、議会の中でも慎重に時には激しく議論が交わされました

が、従前の議決、方向付けで決着を見たところで、この間、小諸厚生総合病院再構築の推進の市民署名も有権者の70%を超える数で挙げられたことも見逃せません。議会においても特別委員会や議員全員協議会、関係団体、市民との意見交換等を行いながら、議会合意にも慎重に協議を重ね、議決方向を出してきました。

平成25年2月、後期議会構成が行われ、議長に清水清利議員が選任され、副議長に疇地稔議員が選任されました。第16次議員の任期の折り返し点、後期の任期に入りましたが、前期の中で市長が交代する中にも小諸市の将来を見据えた重点事業の方向、市民の負託を受けている行政と議会、その二元代表制における一方の行政監視機関として、今日の方向付けを議決した議会の責任は益々重くなっていると感じます。

小諸市にとって50年に一度とも言われる大型事業、市単独のごみ焼却施設建設、図書館コミュニティスペース・新市庁舎建設、小諸厚生総合病院の再構築等コンパクトシティのまちづくりは前記しましたように昨年からは前記事業着手されています。この事業は多額の費用と市民のご理解の下に実行されていることであり、この方向付けした議会にも重大な責務があります。医療福祉の充実や市が支援する小諸厚生総合病院への30億円は地域医療体制、第二次救急医療体制の維持、安心安全のまちづくり等に寄与いただく代償でもあります。議会機能を十分に発揮する体制をとり、責任を果たして参ります。

こうした経過と方針は定数削減を伴う議会機能の低下が生じない体制や人心一新の契機を市民の皆様と選択いただき、17次以降の議会体制につなげていきたいと思っております。議会は、市民皆様のものであります。今後とも議会・議員に対するご助言、ご指導を直しくお願いいたします。

新庁舎のイメージ図



12月11日
まち再生
特別委員会

報 告

●12月11日委員会

「新庁舎・駐車場について」

新庁舎等建設工事進捗状況について施工業者から説明があり鉄筋工・型枠工の人員不足により市庁舎は40日、図書館コミュニティスペースは60日の工期の遅れがあり、最終的な工期の延長については、上棟の工程に入ると判断ができないとの報告がありました。契約どおりの竣工をお願いしたいと要請をし、全体の中で作業員の配置と工法の



現場作業員の様子

工夫により遅れの解消に努力するとの説明がありました。

また、新庁舎地下駐車場以外の駐車場の進捗状況について説明があり、赤坂駐車場は今年度中に完成を目指し、中央西駐車場は西庁舎解体後27年10月着工し28年6月の完成を進めていくとの報告を受けました。

●12月12日委員会

「厚生病院建設について」

厚生病院より25年3月に示した新病院整備計画の見直しを行い、建築費を76億円余から83億円余に修正し、建物規模は延べ床面積を2万3千㎡から2万1千㎡に、病床数を25床から24床へ縮小し、開院の時期を当初の平成29年7月から平成29年9

月に変更するとの説明がありました。また、財務計画については長野県厚生連全体で一括管理しており小諸厚生総合病院単独での財務計画は示すことができないが、事業計画と収支計画は今後提示する予定であるとのこと

でした。

この計画案は来年3月開催予定の厚生連総会の場で正式決定となるもので、承認が得られるよう病院側から厚生連へ働きかけていきたいとの説明もありました。

議会としては、中心市街地の核となる病院再構築が協定書どおりに履行されるよう今後も注視していく事を確認しました。大変重要な問題であるため、第17次議会（次期議会）へ当委員会として次の通り申し送りをしていきます。

●第17次議会へ申し送り事項

一・自治基本条例に基づいた市民との協働のまちづくりを進めるうえでも、行政の構想を明らかにし、



申し入れ書を手渡す議長

医療、福祉、介護、商業が一体となった「医商連携」による活気あるまちの再生のため、協議会などの早期立上げを議会からも要請するなど、行政とともに民意を十分把握することにさらに努めること。

二・第17次議会においても特別委員会を設置し、庁舎完成及び小諸厚生総合病院が構築されるまで、行政、病院との協議、意見交換を行い、まちづくりの内容を議会として検討されること。

三・第16次議会の特別委員会では、新庁舎議場の検討を行い、対面式の議場、議会映像配信システムの導入を市長へ申し入れを行っているため、設置までの協議、検証に努められること。

●コンパクトシティによるまちづくりに関して

○小諸市の重要課題であるコンパクトシティによるまちづくりについては、小諸北佐久医師会、小諸

商工会議所商業委員会、小諸商店会連合会との意見交換を踏まえ、課題の方について議論を行い、当委員会としての意見をまとめ議長へ報告し、12月16日に議会として、市長へ以下の2項目について申し入れを行いました。

●申し入れ事項

一・コンパクトシティによる中心市街地一帯のグランドデザイン、いわゆる「柳田プラン」の素案を市民に示すこと。また、小諸厚生総合病院へ、事業計画と収支計画を提示するよう働きかけを行うこと。

二・コンパクトシティによるまちづくりは、地域住民等をはじめとする民間業種や多様な主体が参加し、互いに暮らしやすい地域社会を協働でつくるのが基本理念である。福祉・商業、その他関係団体、関係者からなる協議会の設置を早急に行うこと。

以上、まち再生特別委員会の報告といたします。

編集後記

去年は経験した事がない108cmという大雪に始まり、国内のあちこちの大地が唸り声を上げています。県内では御嶽山の噴火や神城断層地震等で尊い命が犠牲になってしまいました。当市の浅間山も神聖であり活火山でもあります。自然保護と防災強化の共生が今後求められてきます。

さて、16次議会が1月31日をもって任期満了となります。新庁舎、病院再構築等で議会を二分する論争がありました。結果前市長の政策を進める事となり、今年6月の竣工に向けて連日大きな槌音がしております。

広報委員会では「読んでもほしい議会だより」を目指し工夫をいたしました。

最後に議会では、議会基本方針の検証を行い、更なる「市民益」となるよう17次議会に託し、皆様のご健勝と市の発展を祈りあとがきと致します。